

会長より一言 ～ 一昔前の言葉から ～

この号の内容:

会長より一言

1

トピックス

仙腸関節

～その特徴と疼痛誘発テ

スト(pain provocation tests)の

信頼、妥当性について～

2

佐藤会長 日本人初徒手

英文誌JMMTのReviewer

として指名

2

研修会アナウンス

2-4

書籍紹介/研究費助成

4

入会・継続手続き

5

以前、「説明責任」という言葉を政治家が使っていたことを思い出す機会が最近ありました。それは、昨年出版された私の「パリス・アプローチ 実践編 DVD付き(文光堂)」の内容が関係しています。その中で「凹凸の法則」について、過去の複数の研究を参考に「凹凸の法則どおり関節運動は起こるとは限らない。凹凸の法則は単なる知識であり、直接治療に結びつかない。」ことを説明し、知識の限界を示しました。これは、過去の知識がどの程度実際に生かすことができるのか、現代を生きる人間としてのその責任を果たしたまでであります。一方で、噂ではあるが、その知識の利用価値を明らかにしたことに嫉妬なのか、この説明した私を中傷する記事があることを聞きました。1つの知識を信じている人また、それを推し進めている人は、自らがその知識の詳細を正直に説明する、または証明する必要があります。それをしないで、またはできないからといって、その説明をした他の人を嫉妬されたのでは正直、そのような人たちに理屈はあるのか、疑わざるをえません。少なくとも、我々は医療人であるゆえ、理論・理屈を重視しなければいけない立場であります。社会から理解されるようになるためにも、このことを忘れてはいけないと思います。

我々は、感覚的な世界から脱却すべく、理論的徒手療法の構築と発展を目標にして活動をしてきました。その成果も昨年、一部ではあるが花が咲き、海外の雑誌に我々の臨床研究が論文として採択されました(海外で学会発表することはさほど難しくないが)。これは、日本で徒手療法講習会を開催している組織では非常に珍しいことであります。臨床的な活動をおこないながら、一方で日常おこなっている手技について、または推し進めている知識・技術について、海外の雑誌に採択されたことは、非常に価値あることで「説明責任」を果たしている証拠であります。そして、私個人では、平成25年より海外の英文誌のreviewerとして指名されました。この雑誌では、日本人初のreviewerであり、身に余る光栄であります。以上のことは、我々のこれまでの活動が、世界から学術的な徒手療法として認められてきたことを示しています。

本年は、臨床活動の上に現代を生きる理学療法士としての責任を果たすべく、今まで以上に学術活動をおこない、他職種から認められるような学術的徒手療法を発展させていく所存であります。本年も皆様のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

平成25年2月
佐藤友紀

仙腸関節 The sacroiliac joint

～その特徴と疼痛誘発テスト(pain provocation tests)の信頼、妥当性について～

腰痛は臨床で多く遭遇する機能障害であるが、原因の1つに仙腸関節(SIJ)の問題が挙げられる。今回、SIJの特徴を整理し、特に評価手技の1つである触診・疼痛誘発テスト(pain-provocation tests)の信頼、妥当性を検討する。

* 詳細については会員用ニュースレターをご参照ください。



ガイドライン検討
担当委員
生田伸二

佐藤会長 日本人初 徒手英文誌 JMMT の Reviewer として指名

2013年より、佐藤会長が海外の徒手系英文誌 Journal of Manual & Manipulative Therapy の Reviewer(査読者)として指名されました。この雑誌では日本人として初めてのことで、編集責任者より6-7倍の競争率の中から選ばれたことが知らされました。もちろん、業績を提出した上で指名されますので、その実績が評価されたということです。2012年は我々の臨床研究が英文誌にアクセプトされただけでなく、最後に海外英文誌の reviewer としても認められ、成長を感じた1年でした。

我々の学会は学術的な徒手療法を実践しているといっても過言ではないでしょう。今後も、これらの経験をさらに発展させ、理論的徒手療法の確立に向け、チャレンジを継続します。



研修会アナウンス

脊柱の評価と治療(S1)

日 時: 平成25年3月9-10日, 30-31日(土日)

講 師: 佐藤友紀(University of St. Augustine)

会 場: 関東リハビリテーション専門学校

受講費: 53,000円(前半2日間受講 27,000円, 後半2日間 26,000円)

急性腰痛と理学療法(徒手療法)

日 時: 平成25年4月21日(日)9:00~15:00

会 場: 岡山県

講 師: 佐藤友紀、公森隆夫

受講費: 会員7,000円 非会員10,000円

四肢の評価と治療 (E1)

日 時: 平成25年5月3-6日(土日, 祝日)
講 師: Michael Turner (University of St. Augustine)
会 場: 大阪回生病院
受講費: 74,000 円

肩こりの病態と徒手療法

島根県: 日 時: 平成25年6月23日(日) 9:00~15:00
講 師: 佐藤友紀、内田武
長野県: 日 時: 平成25年7月21日(日) 9:00~15:00
講 師: 佐藤友紀、西村直樹
受講費: 会員 7,000 円 非会員 10,000 円

脊柱の評価と治療 (S1)

日 時: 平成25年6月29.30日, 7月13.14日(土日)
講 師: 佐藤友紀 (University of St. Augustine)
会 場: 備前病院(岡山県備前市)
受講費: 53,000 円(前半 2 日間受講 27,000 円, 後半 2 日間 26,000 円)

腰椎の機能解剖と徒手療法

大阪: 日 時: 平成25年7月28日(日) 9:00~15:00
会 場: 大阪回生病院(新大阪駅すぐ)
講 師: 佐藤友紀、増井健二
東京: 日 時: 平成25年8月25日(日) 9:00~15:00
講 師: 佐藤友紀、多田裕一
受講費: 会員 7,000 円 非会員 10,000 円

頸椎の機能解剖と徒手療法

大阪: 日 時: 平成25年9月1日(日) 9:00~15:00
会 場: 大阪回生病院(新大阪駅すぐ)
講 師: 佐藤友紀、増井健二
東京: 日 時: 平成25年9月29日(日) 9:00~15:00
講 師: 佐藤友紀、多田裕一
受講費: 会員 7,000 円 非会員 10,000 円

脊柱の評価と治療 (S1)

日 時: 平成25年9月14,15日(土日), 9月22,23日(日祝)
講 師: 佐藤友紀、増井健二 (University of St. Augustine)
会 場: 大阪回生病院
受講費: 53,000 円(前半 2 日間受講 27,000 円, 後半 2 日間 26,000 円)

頸椎の評価と治療 (S3) S1 受講済みであること

日 時: 平成25年11月2,3,9,10日(土日)
講 師: 佐藤友紀 (University of St. Augustine)
会 場: 備前病院(岡山県備前市)
受講費: 55,000 円 (参考書込み)

筋膜の評価と治療 (MF1)

日 時: 平成25年11月2-4日(土日, 祝日)
講 師: 公森隆夫 (University of St. Augustine)
会 場: 関東リハビリテーション専門学校(立川市)
受講費: 50,000 円

臨床実習

日時：平成 25 年 12 月 1 週間(詳細は決まり次第発表)

講師：Rob Stanborough, 佐藤友紀 (University of St.Augustine)

会場：中村整形外科(岐阜県各務原市)

受講費：70,000円

腰椎不安定性

日時：日程調整中 9:00~15:00

会場：石川県

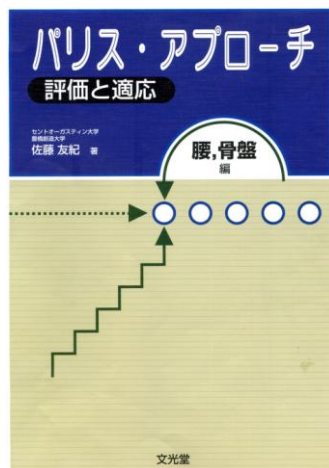
講師：佐藤友紀、橋場貴史

受講費：会員 7,000 円 非会員 10,000 円

書籍紹介

内容の特徴：

解剖を中心として病態を考えるため、徒手療法の治療手技に固執せず、運動・姿勢指導などの重要性を認識できます。多くの治療法を組みあわせることで徒手療法を効果的にする考えで書かれています。これまで”徒手療法をすれば治る”という誤解を、”徒手療法を治療に組みあわせることで治る患者もいる。長期管理が必要となる患者もいる。徒手療法を組みあわせて患者に接することで予防する”といった総合的な治療を再認識させる書籍であります。



内容の特徴：

書籍「パリス・アプローチ 実践編 DVD付 文光堂」が出版されました。腰椎から骨盤の病態、肩こり、胸郭出口症候群、頸椎捻挫など病態と徒手療法の関係、実技について執筆しています。また、サブテーマとして：

- ・ 頸椎捻挫における頸椎への外傷と反射性筋収縮の時間の関係)
- ・ 凹凸の法則の実際(複数の論文から紹介)
- ・ なぜ C6、7 可動性増大が多いのか、などについても記載しております。

実践編の意味として、知識と技術を結びつける役割として考えています。徒手理学療法の限界を考えつつ実践するその原点は機能解剖です。流行のない、原点に回帰した、原則に基づいた書籍です。アマゾンで購入可能ですので、是非一読ください



研究費助成

本学会では研究計画書を提出いただき審査に合格した場合、5万円から10万円の助成を検討しております。詳しくは本学会事務局までお問い合わせください。

対象：徒手療法(診断・検査・治療)に関連した研究。

日本徒手療法学会

スタッフ

会長

佐藤友紀

副会長

増井健二

事務局

藁科孝佑

教育研修委員会

橋場貴史
西村直樹

ガイドライン検討担当委員会

生田伸二

学術検討委員会

公森隆夫

広報委員会

内田 武

事務局

大阪回生病院

リハビリテーションセンター内
〒532-0003

大阪市淀川区宮原 1-6-10

TEL : 06-6393-8264

FAX : 06-6393-3509

E-mail : jsmt@kaisei-hp.co.jp

Web サイト

URL: <http://jsmt.jimdo.com/>



新規入会・継続手続きについて

入会をご希望の方は、下記の手順に沿って手続きを御願いたします。

入会希望者手続き

① ホームページ(<http://jsmt.jimdo.com/>) 上より Excel のダウンロード

② Excel に必要事項入力

③ 年会費(3,000 円)振込

ゆうちょ銀行 記号 14020 番号 30477041 日本徒手療法学会
他金融機関からの振込み受け取り口座

【店名】 四〇八(読み ヨンゼロハチ)

【店番】 408 【預金種目】普通預金

【口座番号】3047704

日本徒手療法学会

④ 事務局へメール送信(※入力済みの Excel を必ず添付)

E-mail : jsmt@kaisei-hp.co.jp

会員継続手続き

平成 25 年度の会員を継続希望の方は、

① 件名に平成 25 年度会員継続と明記の上、

② 氏名、所属施設を記載し

日本徒手療法学会事務局 jsmt@kaisei-hp.co.jp までメールにて送信ください。

学会誌などは郵送にて送付いたしますので所属が変更の場合などは新たな住所も記載し送信してください。

③ 送信から 2 週間以内に年会費 3,000 円を上記口座にお振込みください。

日本徒手療法学会

事務局 大阪回生病院 リハビリテーションセンター内

〒532-0003 大阪市淀川区宮原1丁目 6-10

TEL 06-6393-8264 FAX 06-6393-3509

E-mail jsmt@kaisei-hp.co.jp